

令和8年度 一般研修



学習障害と発達協調性運動障害について

学習障害(LD)や発達協調性運動障害(DCD)は、読み書きの困難や不器用さ、集中しにくさや疲れやすさなど、学習や日常生活の中でさまざまな困りごととして現れます。一方で、本人の特性が理解されにくく、見過ごされることも少なくありません。本研修では、子どもの発達に詳しい医師を講師に迎え、臨床経験をふまえながら、こうした特性をどう捉え、どのように支援につなげるかの視点を学びます。

※集合形式による研修です

受講料無料

講師

前田 卿子

(静岡済生会療育センター令和 療育小児科医師)

末田 慶太郎

(札幌市子ども心身医療センター 児童精神科医師)

対象

【医療】医師 心理士 看護師 訓練士
その他支援者

【教育】教員(支援級、通級、特別支援
学校等) 幼児言語教室 その他支援者

【福祉】児童発達支援 放課後等デイ
サービス 計画相談事業所等の支援者

【子どもの支援に関わる行政職員】

児童相談所 子ども家庭センター

保健福祉センター(保健師/心理士)等

参加者定員:120名

開催日程

令和8年 7月29日(水)

10:00~16:30 (9:30受付開始)

第1部 読み書き困難のアセスメントと支援

第2部 読み書き支援の方略

第3部 発達協調性運動障害の理解と支援

(内容詳細は裏面をご覧ください)

【お願い】

1部と2部は連続した内容のため、
両方の受講をお願いします。

【会場】

静岡グランシップ9階会議室(901)

申込み

下記のQRコードを読み取り、お申込みください。
お申込み後、研修のご案内が自動返信メールで届きます。
静岡市発達障害者支援センターのホームページからも
お申込みいただけます。

お申込み・お問い合わせ

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

TEL.054-285-1124

〒422-8006 静岡市駿河区曲金5-3-30



申込締切:
7/15(水)

研修内容

●第1部 10:00~12:00

「読み書き困難のアセスメントと支援」

【講師】前田 卿子 氏

- 1) 学習障害LDの定義と症状
- 2) 読み障害(ディスレクシア)のアセスメント
- 3) 書き障害(ディスグラフィア)のアセスメント
- 4) 村井式、MIM、スマイルプラネット、大阪医大方式などの紹介

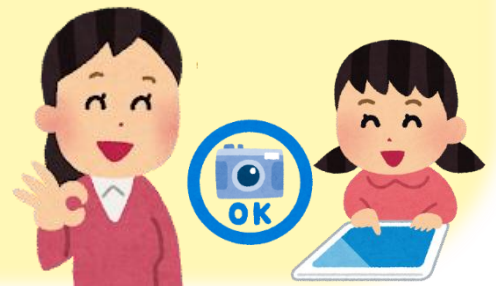


●第2部 13:00~14:15

「読み書き支援の方略」

【講師】前田 卿子 氏

- 1) 年代別読み書き障害の特徴
- 2) 読みに躓きのある子への支援
- 3) 書きに躓きのある子への支援



●第3部 14:30~16:30

「発達協調性運動障害の理解と支援」

【講師】末田 慶太郎 氏

- 1) 発達協調性運動障害とは
- 2) 幼児期・学齢期における発達協調性運動障害の具体的な現れ
- 3) 困難さへの支援(学習場面だけではなく運動面や生活面まで)

